

諮問事項①：「基本的機能の充実」について

答申策定に向けて

<社会情勢の変化>

- 政策：社会教育・地域の文化振興を担う中核施設
- 技術：博物館資料に係る電磁的記録の作成・公開
- 社会：幅広いニーズに応えられる施設運営
- 経済：情勢に影響されない活動の推進

<協議会意見要旨>

- ①高齢者、外国人の方など伝え方の方法を工夫
- ②展示の際は、関連する研究も広げてもらいたい
- ③展示整備をする場合は研究調査も必要であり、ソフト面において研究者の支援を行うことが望ましい

<中期計画検証>

成 果

課 題

中期計画

第1期

総合展示の定期的入れ替え・クローズアップ展示の新設

収集資料の恒久的な保存管理

第2期

特定重点項目に係る取組

コロナ禍の経験を活かした取組

諮問事項②：「求められる役割」について

答申策定に向けて

<社会情勢の変化>

- 政策：地域の生涯学習活動、国際交流活動、ボランティア活動や観光等の拠点
- 技術：デジタル技術を活用した博物館事業の展開
- 社会：多様性や社会包摂の積極的な取組の実施
- 経済：教育、楽しみ、省察と知識共有のため様々な経験を提供

<協議会意見要旨>

- ①「社会のニーズ」、「意識の変化」は具体的に示す
- ②課題や問題などを各階層（国内外）に分け、館としての目標設定を明確にする
- ③多様性が一般的になる中、等しく楽しめる博物館としての役割とは
- ④「役割」の達成は、傾向とアンケートを活用した方法も有効

<中期計画検証>

成 果

課 題

中期計画

第1期

特色ある地域文化の創造や地域活性化の拠点の取組

ICTを利用した情報発信機能の向上化

第2期

文化観光推進拠点計画作成による魅力促進化

道民・来館者アンケートによる事業の企画立案推進

諮問事項③：「地域との信頼関係構築」について

答申策定に向けて

<社会情勢の変化>

- 政策：博物館が様々な分野の主体と連携することによる地域での多様な価値の発揮
- 技術：デジタル化による地域の活性化
- 社会：展示を通し理解相互の創出や地域住民等との共創の創出
- 経済：資源（人材、情報等）の共有や地域への社会貢献

<審議会意見要旨>

R6.10にて意見聴取

<中期計画検証>

成 果

課 題

中期計画

第1期

他博物館・関係団体との連携強化実施

道民との連携、協働する博物館づくりの迅速化

第2期

インターネットにより博物館の蓄積を活用した「おうちミュージアム」の実施

道民参加型の博物館として取組の一層の努力化

諮問事項④：「運営基盤強化」について

答申策定に向けて

<社会情勢の変化>

- 政策：資金・人材・施設等の基盤を強化及び職員の養成・研修
- 技術：コロナ後のニュー・ノーマルに対応したデジタル強靱化社会
- 社会：気候温暖化等によるリスクアセスメント
- 経済：基本的機能の維持保全

<審議会意見要旨>

R6.10にて意見聴取

<R5.9の委員意見>

- ・学芸員のモチベーションを上げるための取組
- ・専門性の知識を活かした展示の工夫

<中期計画検証>

成 果

課 題

中期計画

第1期

北海道立総合博物館協議会の開設

道庁との関係性やガバナンスの体系化

第2期

館内ガバナンスの構築

コロナ禍による臨時休館や行事の中止

「基本的機能の充実」

- 資料の収集・保存
- 資料の利活用

運営の根幹

- 調査・技術の研究
- 成果の社会還元

「求められる役割」

- 多様な視点の提供
- 社会包摂の向上

多様な価値の創出

- 他分野連携による社会貢献
- 開かれた博物館の環境づくり

博物館を
取り巻く
環境の変化

「地域との信頼関係構築」

- 道民参加型の博物館活動
- 社会的課題の取組

地域との共創

- 創造の場としての取組
- 教育活動の充実

「運営基盤強化」

- 文化資源の継承
- 職員の資質向上

持続的な運営

- 各種リスクの想定
- 様々な財源の確保